

ワークショップ レポート Vol.1

2024年8月23日に富永良史先生を迎えて仁短の教職員で第1回のブランディングワークショップを開催！現在の仁短の置かれている状況や私達の魅力、起こすべき変化などワークショップを通して課題を掘り起こし、これから先の未来について話し合いました。



ココ(福井)にある 仁短の魅力・強み

Theme 1-2

「子育て」に関するハード・ソフトがそろっている

地元企業との密な関係

教職員と学生の距離感が近い

2年間で集中して学びを積み上げより早く社会人になれる

周囲の自然と
広い敷地

アットホーム感

都会より地方で余裕をもって学ぶことができる

福井の女子教育は 仁短におまかせ

福井県で たった一つの 短期大学

(女子校は北陸3県で2校)
多様性が重視される中、女子だけに特化していくのは難しい

四大と
専門学校の
間での
自身の立ち位置を
模索している

安心
地域(福井)に
根付いている

美しい桜並木

卒業生が全国各地で活躍

Theme 1-1

仁短は今どこにいる？

短期 集中大学



人口減少の影響を もろに受けている

これから どんな変化が起きる？

生涯学習・ 学びなおしの拠点

施設の開放
地域の交流の場

四大志向

内↓
外↑
流出

学生数の激減
学生が仁短生であることにプライドを持てなくなる

人口減少のスピード
女子短大への
こだわり

福井型の 人生育成プログラムとして確立

2年間で資格取得して実践力として雇用してもらえる

キャンパス開放デー

AI学園長
学生が講師の
公開講座
附属幼稚園との
コラボ企画

卒業生一日
学長パトロン
大同窓会
グラウンドで
フェス

学食60周年記念メニュー

Theme 1-4

60周年でやりたいこと

夜桜
ライトアップ

『だんぜんじたん』

「地元で働きたいし
学校キレイだし
仁短に行こうかな」

『地域に若者が居て、
活性化するよね』

『仁短ならまちがない』

『地元で就職してくれるなら
資格も取れる
仁短に行きたいな』

Theme 1-5

仁短を選ぶセリフ

『卒業して
良かった』

「本人が目標として
いるところから
マッチするから
仁短かな」



Vol.1 SUMMARIZE

JINTANをHAPPYにする様々な意見ができました。これらをもとに、60周年に向けて動きます。意見や考えなど、あなたからの声も大募集！横にあるボードへ自由に書き込んでくださいね。

